

# 第4期がん対策推進基本計画（令和●年●月閣議決定） 概要（案）

## 第1. 全体目標及び分野別目標 / 第2. 分野別施策

「誰もががんとともに自分らしく生きられるよう、全ての国民でがんの克服を目指す。」

<p><b>「がん予防」分野の分野別目標</b> がんを知り、がんを予防することで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す</p>	<p><b>「がん医療」分野の分野別目標</b> 適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す</p>	<p><b>「がんとの共生」分野の分野別目標</b> がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す</p>
<p><b>1. がん予防</b> (1) がんの一次予防 ①生活習慣について ②感染症対策について (2) がんの二次予防（がん検診） ①受診率向上対策について ②がん検診の精度管理等について ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について</p>	<p><b>2. がん医療</b> (1) がん医療提供体制等 ①医療提供体制の均てん化・集約化について ②がんゲノム医療について ③手術療法・放射線療法・薬物療法について ④チーム医療の推進について ⑤がんのリハビリテーションについて ⑥支持療法の推進について ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進 ⑧妊孕性温存療法について (2) 希少がん及び難治性がん対策 (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策 (4) 高齢者のがん対策 (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装</p>	<p><b>3. がんとの共生</b> (1) 相談支援及び情報提供 ①相談支援について ②情報提供について (2) 社会連携に基づくがん対策 (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援） ①就労支援について ②アピアランスケアについて ③がん診断後の自殺対策について ④その他の社会的な問題について (4) ライフステージに応じた療養生活への支援 ①小児・AYA世代について ②高齢者について</p>
<p><b>4. これらを支える基盤</b> (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進 (2) 人材育成の強化 (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 (4) がん登録の利活用の推進 (5) 患者・市民参画の推進 (6) デジタル化の推進</p>		

## 第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 関係者等の連携協力の更なる強化
- 感染症のまん延や災害等を見据えた対策
- 都道府県による計画の策定
- がん患者を含めた国民の努力
- 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 目標の達成状況の把握
- 基本計画の見直し

6

〔図1〕

## 厚生労働省「第4期がん対策推進基本計画案」

昨年12月7日に厚生労働省は2023年度から6年間の国の取組として「第4期がん対策推進基本計画案」をまとめた。第4期の全体目標（案）は「誰もががんとともに自分らしく生きられるよう、全ての国民でがんの克服を目指す」とあり、「予防」「医療の充実」「がんとの共生」の主要3本柱と4本目の「これらを支える基盤」というそれぞれの分野で推し進めて行く方向で概要（案）が出ている（図1）。デジタル庁との協働としては、専門医とのオンライン診療や、人工知能（AI）による診断支援、患者さんのデータを集めて薬の副作用と使用量の調整が考えられる中、文部科学省のがん教育について、もっと注目されて周知されるべきではないかと思う。

先程、武田教授の講義にあったHPVワクチンについて、「国は、積極的な勧奨を差し控えることとした取扱いを終了し、予防接種法（昭和23年法律第68号）に基づく個別の接種勧奨を令和4（2022）年4月から実施している。また、積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して

は、公平な接種機会を確保する観点から、令和4（2022）年度から3年間、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う「キャッチアップ接種」を実施している。また、令和5（2023）年度から9価HPVワクチンの安定的な供給が可能であることから、令和5（2023）年4月から9価HPVワクチンの定期接種を開始することとしている」とあるので、是非とも誕生日が1997年4月2日～2006年4月1日の女性で過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない女性は、令和7年3月までに公費でHPVワクチンを受けることが出来るので、市町村や医療機関で相談して欲しい。

人生100年時代を生きるには、正しい知識・正しい情報に基づく自己管理が重要。このコロナ禍でがん検診の受診が減り、早期発見が遅れている。少しでも身体の異変を感じたら医療機関での受診をお願いしたい。自分の身は自分で守ろう。